

1. 本省情報基盤システムの業務・システムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	文部科学省大臣官房政策課情報化推進室
府省全体管理組織担当課室名	文部科学省大臣官房政策課情報化推進室
評価期間	2006年4月1日～2007年3月31日
最適化工程の段階	設計・開発段階

2. 設計・開発段階における評価

(1) 設計・開発事業者の選定準備

(最適化の実施内容)

本省情報基盤システムの設計・開発事業者の選定準備を行う。

(最適化の実施状況)

2006年2月1日、本省情報基盤システムの設計・開発業務(平成18年度実施分)の仕様書に関する意見招請を実施。

2006年3月31日、本省情報基盤システムの設計・開発業務(平成18年度実施分)の入札公告を実施。

【最適化実施の評価】

極端な安価入札を防止し、より質の高いシステムの調達のため、総合評価落札方式を採用している。また、運用に関しては「情報システムの調達に係る総合評価落札方式の標準ガイド」(H14.7.12.調達関係省庁申合せ)に基づき実施されている。

(2) 開発事業者の選定

(最適化の実施内容)

本省情報基盤システムの開発事業者の選定

(最適化の実施状況)

・2006年(平成18年)6月8日、調達件名「本省情報基盤システムの開発」について、一般競争入札(総合評価落札方式)による調達を実施し、落札者富士ゼロックス株式会社と契約を締結。

【最適化実施の評価】

課題及び問題とその原因

なし

対策
なし

(3) システム開発の実施

(最適化の実施内容)

本省情報基盤システムの開発の実施

(最適化の実施状況)

2006年(平成18年)3月27日文部科学省行政情報化推進委員会にて決定された「本省情報基盤システムの業務・システム最適化計画」に基づき2006年度(平成18年度)～2007年度(平成19年度)の2ヶ年にわたり最適化を実施することとなっている。

2006年度(平成18年度)においては、最適化対象の10調査のうち、2調査分について「業務要件詳細定義及び基本設計」、「実装」、「単体テスト」、「結合テスト」及び「データ移行」を行った。

ただし、残りの8調査分については、2007年度(平成19年度)実施予定分を除き、「業務要件詳細定義及び基本設計」の一部(具体的には、共通設計及び処理設計部分)のみを実施した。

【最適化実施の評価】

課題及び問題とその原因

設計、開発段階に入ると、以下のような原因で進捗に遅れが生じた。

調査方法も調査客体も異なる各調査業務について、将来体系のフローを基本として、調査実施課の意見を考慮した設計を調査業務毎に行ったことによる追加要件の検討

政府統計共同利用システムとの連携上必要な機能について、本システムの設計・開発着手後に詳細仕様が具体化したことによる追加要件の検討

平成18年度開発対象となっていた調査の集計表をVBAマクロにより自動整形する機能について、VBAマクロモジュールの共通化の検討

対策

2006年度(平成18年度)における最適化実施中に発生した作業遅延について、府省全体管理組織から出来高計画値の変更を含めたスケジュールの見直し指示を受けたため、事業者にも今後のスケジュールの再計画を要請。原因～に対する対策として、当初、37名で開発を行っていたところ、1月に25名の開発技術者の増員を実施したことによりスケジュール効率指数(SPI)が0.35から1.00へ回復し、3月末までに全ての作業を完了した。

また、今後同様の問題が発生することを抑えるため、これまで以上に PJMO 及び開発事業者との間で連絡を十分にとることとしている。

3．最適化の効果の評価

2006 年度において最適化の効果は発現しない。

4．最適化実施の総合評価

情報化統括責任者（CIO）を統括責任者とする文部科学省全体管理組織において CIO 補佐官からの助言を得つつ、以下のとおり評価した。

2006 年度は政府統計共同利用システムへの適用を考慮した詳細設計を行い、一部の調査表について実装を行った。いくつかの課題があったが、最終的に納期どおりに納品できたことは評価できる。

5．その他

なし

6．添付書類

最適化効果指標・サービス指標一覧

最適化効果指標・サービス指標一覧
(本省情報基盤システム)

(1) 最適化共通効果指標

削減経費 (単位: 千円)

	初年度目	2年度目	3年度目
	2006年度	2007年度	2008年度
最適化実施前の経費(a)	147,000	147,000 (a')36,750	147,000
最適化実施後の経費(試算値)(b)	-	(b)13,060	52,238
削減経費(目標値)((a)-(b))	-	23,691 (a')-(b)	94,762
最適化実施後の経費(実績値)(c)	-		
削減経費(実績値)((a)-(c))	-		

2007年度は、最適化実施分(1月~3月)のみ計上((a')は3か月分に相当する最適化実施前の経費)

削減業務処理時間 (単位: 時間)

		2005年度	2008年度			
		最適化実施前の業務 処理時間	最適化実施後の業務 処理時間(試算値)	削減業務処理時間 (目標値)	最適化実施後の業務 処理時間(実績値)	削減業務処理時間 (実績値)
		(a)	(b)	((a)-(b))	(c)	((a)-(c))
	実査・集計業務負荷の軽減	4,792	3,208	1,584		
	情報の高度利用による政策立案及び目的外申請への対応	552	240	312		
	統計情報の公開	272	0	272		
	外部委託の推進	336	0	336		
	合計時間	5,952	3,448	2,504		
	金額換算(千円) (3,125円/時間)	18,600	10,775	7,825		

(2) 最適化個別効果指標

利用者満足度 (単位: %)

【計算式: 「満足」とした回答数 / 「全有効回答数」 × 100】

	最適化実施前	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
目標値		-	75	80	85	90
実績値	-	-				
算出式	-	-				

最適化効果指標・サービス指標一覧

2 サービス指標

(1) 共通サービス指標

稼働率 (単位: %) 【計算式: 「実稼働時間」 / 「予定稼働時間」 × 100】

システム		2005年度	2006年度	2007年度												2008年度	2009年度	
		実施前	実績値	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			3月
本省情報 基盤システム	目標値		-	99.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.6	99.6	99.6	99.6	99.6
	実績値	98.8	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	算出式	238.5時間 ÷ 241.5時間 × 100 (時間は月間平均)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-					

(2) 個別サービス指標

復旧目標時間 (災害時を除く) (単位: 分) 【計算式: 復旧に要した時間の年間合計 ÷ 12 (月平均)】

システム		最適化実施前	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目
		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
本省情報 基盤システム	目標値		-	55	40	30	30
	実績値	60	-				
	算出式	720 ÷ 12	-				